



「シミ、くすみ」の治療について

《スキンケアは老化予防の基本》

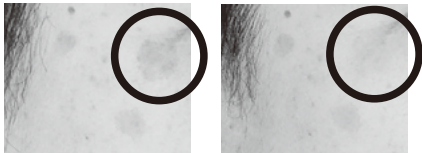
スキンケアとは、皮膚の老化を予防するための日々の管理です。皮膚をケアしないで放っておくと、紫外線や乾燥、擦れなど、慢性的な刺激により皮膚は老化していきます。正しい洗顔、化粧水、保湿剤、日焼け止めを用いて、スキンケアを継続的に行っていくことで、皮膚の老化を予防すると同時に、新たなシミやくすみの原因を除去することができます。5年後、10年後の自分を考えて日々のケアをしましょう。

《「シミ、くすみ」の治療》

「シミ、くすみ」は皮膚表面のメラニン増加が原因です。紫外線により、メラニン細胞の機能が亢進して表皮細胞へのメラニン供給量が増え、角質の厚みが増加することによって、皮膚の色調がまわりより濃く見えます。

スキンケアに加えて、右記の治療を複合的に行います。「シミ、くすみ」は、完全になくすことはできませんが、色調を薄くして目立たなくした後に、目立たない状態を保つ治療を行うことができます。

【レーザー治療前と治療後(外用薬・内服薬も併用)】



▲治療前

▲治療後

外用薬	メラニン細胞の働きを抑える軟膏を使用。気になる部分に塗布。
内服薬	メラニン細胞の働きを抑える薬を内服。内服により顔全体の美白を促す。
レーザー治療	レーザー機器による光治療は、外的な刺激により、皮膚を活性化させ、新しい皮膚に置き換えていく治療。複数回の治療が必要となることもある。皮膚に刺激を与える治療のため、スキンケア、外用、内服により、皮膚の状態を整えてから行わないと、治療によって逆に色素沈着を生じることがある。

※「シミ、くすみ」の治療は原則自費診療となります。疾患によっては保険適応になることもあります

市立甲府病院形成外科 西岡 宏ドクター



- ・(社)日本形成外科学会専門医
- ・平成 23 年岐阜大学医学部卒
- ・信州大学医学部附属病院などを経て、平成 30 年 4 月から当院勤務
- ・現在当院形成外科医長

☎市立甲府病院…☎(244)1111

とびだせ！市民レポーター！

マンホールが変身！ご当地マンホールを見に行こう！

日本全国には、そのまちだけでしか見ることのできない、さまざまなデザインをあしらったマンホールがあります。

甲府市でも7月20日に、こうふ開府500年事業PR用オリジナルデザインマンホールが設置されました。マンホールを設置している上下水道局の方に取材しました。



デザインマンホール設置

甲府駅北口「よっちゃばれ広場」に「こうふ開府500年記念ロゴマーク」、「時の鐘」向かいに「戦国BASARA 信玄くん」が設置されました。



▼「戦国BASARA 信玄くん」デザイン



▲「こうふ開府500年記念ロゴマーク」デザイン

マンホールカード

今、マンホール愛好家が増えているとのことで、現地に出向き写真を撮る方やカードを集める方もいるそうです。全国では364自治体418種類のカードがあり無料配布されています。

市では、信玄公像前にあるご当地マンホールのマンホールカードを市観光案内所で配布しています。※マンホールカードについて詳しくは本誌12ページをご覧ください

デザインマンホールを通じて

上下水道局では、「蛇口をひねれば水が出る」「汚れた水は排水溝に流れていく」のが当たり前ではなく、上下水道事業が直面している水需要の減少や老朽施設の更新、災害対策について、皆さんに知ってもらいきっかけになることを期待しているそうです。

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

今回取材させていただき、日々の生活の中で、きれいな水が出ることに對して、特に意識大切に使用していないということに気づきました。

「甲府の水は美味しい」それはいろいろな方が設備を整え点検し、補修してくれるからこそであると実感しました。また時代に合わせたPRの方法を実施していく上下水道局にも感動しました。



今月の担当レポーター／塩島貴子